

市民の皆様へ

新型コロナウイルス感染防止対策にかかる南相馬市長メッセージ

市民の皆様には、不要不急の外出自粛など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

2月2日に政府は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」について、発令中の11都府県のうち、栃木県を除く首都圏4都県、東海2県、関西3府県、福岡県の10都府県を対象に、3月7日まで1ヶ月の延長を決定しました。

また、県においては、1月13日から2月7日までを「福島県新型コロナウイルス緊急対策期間」として、不要不急の外出自粛要請や酒類を提供する飲食店等への営業時間短縮の協力要請をしておりましたが、医療体制が逼迫していることから、緊急対策期間を2月14日まで1週間の延長を決めました。

これを受け、本市においても2月7日までとしていた市有施設の利用制限等（午後8時まで）について、県の方針を踏まえ、2月14日まで期間を延長いたします。

本市では1月22日に3名の陽性患者が確認されたのを最後に、13日間連続で、新規の感染者は確認されていません。引き続き、基本的な感染対策に努めていただきますとともに、県からの協力要請内容など、以下の4点について、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

緊急事態宣言対象地域を始めとする感染拡大地域との不要不急の往来を自粛すること。

県内における不要不急の外出を自粛すること。特に夜間（午後8時以降）の外出自粛を徹底すること。

酒類の提供を行う飲食店に対する営業時間の短縮（午後8時まで）

普段一緒にいない人との飲食はさけていただきますようお願いいたします。

市民の皆様にはこれまでも、マスクの着用、手洗い・手指消毒、3密の回避、感染リスクが高まる5つの場面への注意、換気と適切な湿度の確保などにご協力いただき、成果を上げてまいりましたが、引き続き更なる対策の徹底をお願いいたします。

令和3年2月5日 午後2時00分現在

南相馬市長 門馬和夫

コロナ禍の花粉 早めの対策を

今年もいよいよ花粉対策が必要な時期になります。昨シーズンは例年に比べ花粉の飛散量が少なかったことから、症状が軽くて済んだ方もいらっしゃったと思います。日本気象協会が1月20日に発表した「2021年春の花粉飛散予測(第3報)」によれば、福島県での花粉飛散量は昨シーズンに比べ「非常に多い」と予測されています。今シーズンは本格的に花粉症と新型コロナウイルス感染症が併存する初めてのシーズンとなります。早めの対策をお願いします。

花粉症患者の感染リスク

花粉症の症状といえば、「くしゃみ」「鼻水」「目のかゆみ」などですが、「目がかゆい、鼻がムズムズして、周り
にあるいろいろなものを触った手で、目を強くこする、鼻をいじる、口をいじる」など、それらが新型コロナの感染リスクを高めてしまいます。



見分けにくい症状 早めの花粉症対策を

新型コロナウイルスの主な症状は、発熱、咳、倦怠感などです。味覚や嗅覚の障害を訴える方もいます。

一方、花粉症の主な症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどですが、症状が重くなると、微熱や倦怠感を伴う方もいます。強い鼻づまりなどによって味が分かりにくくなる方もいます。



花粉症は症状が重くなると新型コロナとの違いが見分けにくくなります。コロナかな？花粉かな？と不安にならないためにも、早めの対策をお願いします。

新型コロナかな？と迷う場合には、自己判断せずに事前に電話で相談のうえ、医療機関を受診してください。

かかりつけ医など医療機関の受診前には、必ず事前に電話をしましょう。
かかりつけ医がない方については、以下の電話相談窓口にご連絡ください。

受診・相談センター 0120-567-747 (毎日24時間対応)

一般相談(コールセンター) 0120-567-177 (平日8:30~21:00, 休日8:30~17:15)

コロナ & 花粉を乗り切る 6 つの対策

今シーズンの花粉対策は
例年にも増して万全に



コロナ禍の花粉シーズンは、例年以上に感染させないエチケットや、自分自身を守る対策のために気を使います。花粉症の症状がなければ、ストレスは大幅に抑えられるはず。薬やアイテムをフル活用して、いっそうスキのない対策を心がけましょう。

家族だけの空間なら
換気はほどほどで OK



家族の間でコロナ対策に神経質になりすぎると、みんなが家庭でリラックスできなくなってしまいます。外から入ってくる花粉をガマンしても、頻繁に換気をする必要があるか、家族で話し合うことをおすすめします。

くしゃみはマスク必須
できるだけ下を向いて



マスクは現実的に最良の飛沫対策ですが、100%の防御はできません。せきやくしゃみは、飛沫が飛ばないように下を向いて、抑えた手は早めに消毒を。袖で口をおおうと、袖に飛沫が付いて他人への感染リスクになるので、マスク着用時は控えましょう。

目や鼻をかく前に消毒を
花粉メガネはコロナ予防にも



手指を清潔にしていれば、粘膜に触れてもウイルス感染の心配はありません。手洗いやアルコール消毒をこまめに行いましょう。目元をガードしてくれる花粉対策メガネは、うっかり目を触って起こる接触感染を防ぐ効果もあり一石二鳥。

マスクの予備は多めに
ゴミ袋も携帯を



花粉シーズンには、花粉症のせきやくしゃみで、いつもよりマスクが汚れてしまう可能性も。外出時は、マスクを多めに携帯しましょう。また、使用済みのマスクやティッシュを入れる袋もバッグの中に。周囲のリスクを少しでも減らす心遣いを。

発熱があれば
医療機関に相談を



せきやくしゃみの原因を判断するポイントは発熱です。熱を伴わないくしゃみは花粉症の可能性が大。発熱があるなら、コロナをはじめ、他の病気にかかっている可能性があります。かかりつけ医などに事前に電話相談のうえ、受診してください。

資料協力：  エステー株式会社

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

接種が受けられる時期

厚生労働省ホームページより抜粋(一部加工)

国では、医療従事者等への最初の接種が2月中旬から始められるよう準備を進めています。医療従事者等の後、高齢者等の順に接種を進めていく見込みです。なお、高齢者の方への接種開始は、早くても4月1日以降となる見込みです。

接種回数

2回接種となる見込みです。

接種を受ける際の費用

全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。



接種を受ける際の同意の取得

強制ではありません。新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種は、しっかり情報提供を行ったうえで、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種を行うことになります。

予防接種を受ける方には、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

新型コロナワクチンの安全性

現在、開発中の新型コロナウイルス感染症のワクチンの副反応については、国内外の臨床試験等でどのようなものが起こりうるか確認されているところです。

臨床試験では、有効性・安全性等に関するデータを収集するため、健康な方や患者さんに協力してもらい、開発中のワクチンを実際に人に投与して試験します。

その後、臨床試験の結果などに基づいて、ワクチンの有効性・安全性、品質についての審査が行われ、ワクチンが承認されます。

ワクチン接種をかたる不審電話にご注意ください

新型コロナに係るワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報などを騙しとろうとする電話に関する相談が消費生活センターに寄せられています。



新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、市役所や保健所等の行政機関をかたり、

「優先的にワクチン接種を受けられる。」

「予約金が必要なので、指定の口座に振り込んで欲しい。」

などと持ちかけ、現金の振り込みを求める『詐欺』の発生が予想されます。

市役所や保健所等の職員が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話で求めることはありませんのでご注意ください。

不審電話は、留守番電話で撃退できるのでござる〜!!

南相馬警察署

0244-22-2191

福島県消費者生活センター

024-521-0999



カクニンジャー福くん